

スタティップ・デジャシリ 研究員 (タイ)



私はスタティップ・デジャシリと申します。タイの内務省防災局（DDPM）の計画及び政策アナリストです。タイのカセサート大学において、自然資源管理の学士、そして森林生物学で修士号を取得しました。

私の所属する戦略・財務部において、国家防災計画 2015 と DDPM 戦略計画 2017-2022 の実施を担当し、また防災、持続可能な開発目標（SDGs）、気候変動適応（CCA）に関わる関係者と国及び地方レベルで連携し、防災と関係する SDGs の目標 1、11 及び 13 のロードマップを主導しています。

防災は、中央及び地方政府、NGO、国連機関、ボランティアグループ、民間企業、研究機関、そして、もっとも重要な住民を含む様々な関係者間での連携に基づく活動で、総合的な防災に必要な不可欠な計画立案、サービス、情報やリソースの効果的に連携するために協力して活動しなければなりません。日本は、自然災害が多い国であるからこそ、様々な関係者による強いガバナンスに基づいてこのような災害に対処する強いレジリエンスをもっています。そのため、参画、オーナーシップ、持続性、そして一人も取り残さないことを目標とした全ての防災サイクルにおける防災関係者の役割、特に地方レベルにおける関係者の役割について研究したいと思っています。ADRC の滞在期間中、地方防災計画、ハザードマップ、都市計画、教育、気象観測、ジェンダーの視点、官民連携など多く学ぶと共に、被災地も多く訪問しました。ADRC の客員研究員プログラムは、私の防災に関する視野を広げるとともに、タイで生かせそうな知識、日本の防災ガバナンスシステムの優良事例、関係者関与に関する戦略を提供してくれました。

最後に、日本で研究する貴重な機会を提供してくれた日本政府、タイ政府に感謝するとともに、温かく受け入れてくれた ADRC の職員にも感謝したいと思います。ありがとうございました。